



ヒューレット・パカード・エンタープライズ RoHS (有害物質に関する制限) 規制への 適合について (rev 14.0 2016 年 10 月)

ヒューレット・パカード・エンタープライズ (HPE) は、該当するすべての法律および規制に適合するよう取り組んでおり、その対象には欧州連合 (EU) 改訂版 RoHS 指令 (通称 EU RoHS 2)、EU REACH 規則の附属書 XVII、ならびに中国の電器電子製品有害物質使用制限管理弁法 (中国版 RoHS 2) で規制される物質制限要件が含まれます。

ヒューレット・パカード・エンタープライズは、EU RoHS 2指令のような規制は、有害物質を制限する方向へ業界全体のシフトを促すうえで重要な役割を果たすであろうと考えています。一般に、有害物質の制限では、以下の点を考慮に入れることが重要です。

- 規制の内容と実装要件のグローバル規模での調和
- 物質のリスク評価 — 代替物質の環境負荷に関する明確な理解も含む
- 制限対象にする物質の (広義の分類やカテゴリではない) 明確な識別
- 代替テクノロジーが実証され実用化される時期の明確化
- 業界全体が移行を完了するまでの適切なリードタイム
- 最終製品に含まれない物質は規制対象外とすべき
- 代替テクノロジーが現在実用的でない場合の規制物質の使用に関しては、適用除外を許可すべき
- 最大濃度値の設定 (その僅か下のレベルには関連する物質が存在する可能性がある) を含める

ヒューレット・パカード・エンタープライズは、委員会委任指令2015/863/EUでEU RoHS 2に組み込まれた4つの物質の制限に対応しています。具体的には以下の物質です。

- フタル酸ジイソブチル (DIBP)
- フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP)
- フタル酸ブチルベンジル (BBP)
- フタル酸ジブチル (DBP)

将来のRoHS規制の改定では、他の物質も候補に挙げられるものとヒューレット・パカード・エンタープライズは考えています。これには、電気・電子機器 (EEE) に含まれるポリ塩化ビニル (PVC) および臭素化難燃剤 (BFR) の規制も含まれます。HPEは、

塩素 (Cl) と臭素 (Br) の使用を電気・電子機器において制限する (技術的に実現可能な場合) ためには、PVC と BFR に焦点を当てるべきであると考えています。PVC と BFR に着目した理由は以下のとおりです。

PVC と BFR は、電子機器に含まれる塩素と臭素の用途の 99% を占めている。

これらの物質は使用率が高いため、影響も最も大きい。

これらの物質の使用を制限 (技術的に実現可能な場合) すれば、電子製品から塩素と臭素を除去する目標を実質的に達成できる。

HPE ブランド製品の外装プラスチック筐体への PVC と BFR の使用は、2007 年 7 月までに完全に禁止されました[1]。技術的に可能な場合は、製品のライフサイクルを考量しながら、市場の要求とお客様の期待に応えるため、臭素化難燃剤 (BFR)、ポリ塩化ビニル (PVC)、およびフタル酸のその他の使用の段階的な廃止を継続します。

環境、健康、および安全面でのリスクを評価するため、ヒューレット・パッカード・エンタープライズ製品の物質評価ではプロアクティブなアプローチを採っています。ヒューレット・パッカード・エンタープライズは、お客様のご要望、あるいは法的な要件で物質を制限することもあります。予防型アプローチに基づいて HPE が適切と判断したときに制限することもあります。HPE は、科学的データによって潜在的な健康や環境へのリスクが明確化され、よりリスクが低く、商業的および技術的に実現可能な代替物質がある場合には、法的に許可されている物質でも代替に努めます。HPE では、代替物質の評価を継続的に行っています。

ヒューレット・パッカード・エンタープライズ内部の継続的な自発的目標は、指令の範囲内にある事実上すべての HPE ブランドの新製品に関して、EU で定められた各種の期限から 6 か月以内に、EU RoHS 規制の物質制限に EU (および EFTA) 域外で世界的な規模で適合することです。ただし、技術的に実現可能な代替物質が存在しないことが広く認知されている (EU RoHS 指令の適用除外項目で示されている) 場合を除きます。

全世界の RoHS 規制に対するグローバルな対応を全側面で管理するため、2003 年の始めにヒューレット・パッカード・カンパニーの全社的な RoHS チームを組織しました。HP の分社およびヒューレット・パッカード・エンタープライズの創立を經由して、HPE はこのアプローチを踏襲しています。RoHS 規制に対処するヒューレット・パッカード・エンタープライズのイニチアチブは、当社の環境配慮設計プログラムの一環です。このプログラムには、より効率的な物質の使用、特定物質の代替物質調査、省エネルギー設計、およびリサイクルが容易な製品設計が含まれています。

ヒューレット・パッカード・エンタープライズは、管轄区域が異なる RoHS に似た規制も引き続き視野に入れ、今後追加される要件も満たしていきます。HPE は、現在有効なすべての RoHS 規制 (以下の「適合状況」で挙げるものを含む) の要件に適合しています。HPE の適合検証は、サプライチェーンに組み込まれる制限物質に対する当社のリスク分析に基づいており、EU の EN 50581:2012 標準で概説されている技術文書も対象にしています。

詳細については、www.hpe.com/info/environment の以下の項を参照してください。

Living Progress レポート

環境配慮設計

適合検証

環境関連一般仕様

環境宣言

ヒューレット・パッカード・エンタープライズの 既存の RoHS 規制に対する適合状況

欧州連合(EU)

EUおよびEFTA (欧州自由貿易連合) 加盟国の市場に投入される範囲内のHPE製品は、EUのRoHS指令 (2011/65/EU) 要件、ならびに委員会決定での適用除外解除に適合しています。

セルビア

HPE製品[2]は、セルビアで2011年1月4日に施行されたWEEEおよびRoHS (電気・電子製品のリストに含まれる規制、有害物質を含む電気・電子機器の回収を禁止および制限する措置、および電気・電子製品の廃棄物を管理するための方法と手順) に適合しています。RoHSの制限は2011年7月1日以降に市場に投入された機器に適用されます。

トルコ

HPE製品[2]は、2009年3月30日施行のトルコ版RoHS (電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する規則) に適合しています。

ウクライナ

HPE製品[2]は、2011年1月1日に施行されたウクライナ版RoHS (電気・電子機器に含まれる一部の有害物質の使用制限に関する技術基準) の物質制限に準拠しています。

中国

HPE製品[2]は、2016年7月1日に施行された中国版RoHS 2 (電器電子製品有害物質使用制限管理弁法) に適合しています。

インド

HPE製品[2]は、2016年10月1日に施行された「India E-waste (Management) Rules, 2016」(インド版RoHS) 規制の素材 規制に準拠しています。この「India E-waste (Management) Rules, 2016」は、E-Waste (Management and Handling) Rules, 2011に置き換わるものです。

日本

日本では、「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」(JIS-C-0950、通称J-MOSS) が2006年7月1日に制定されています。現時点では、J-MOSSの対象となるHPEブランド製品はありません。

韓国

韓国では、韓国版RoHS (電気/電子製品および自動車の資源循環に関する法律) が2008年1月1日に制定されています。韓国のRoHS 2は、2013年1月1日に制定されています。現時点では、韓国のRoHS 2の対象となるHPEブランド製品はありません。

台湾 (BSMI) RoHS

HPE製品[2]は、台湾のCNS 15663標準 (BSMI RoHS) に適合しています。この標準は、電気電子製品で制限対象の化学物質の使用を削減するためのガイダンスです。この標準は、2013年7月30日に制定され、2017年7月1日以降に市場に存在するサーバーおよび2018年1月1日以降に市場に存在する他の製品に適用されます。

ベトナム

HPE製品[2]は、2012年12月1日に施行されたベトナム版RoHS (Circular 30/2011/TT-BCT:電気電子機器中に含まれる有害化学物質の最大許容濃度の一時規制に関する通知) に適合しています。次のURLで、ベトナムでのHPEのRoHS宣言を確認することができます:

<http://www8.hp.com/us/en/hpe/hp-information/livingprogress/environmentalprogress/msds-specs-more.html>

カリフォルニア州

カリフォルニア州では、カリフォルニア版RoHS (2003年電子機器廃棄物リサイクル法 (上院法案20) の有害物質制限) が、2007年1月1日に制定されています。現時点では、カリフォルニア版RoHSの対象となるHPEブランド製品はありません。

ニュージャージー州

ニュージャージー州では、電子機器廃棄物リサイクル法 (上院法案2144、通称ニュージャージー版RoHS) が2011年1月1日に制定されています。現時点では、ニュージャージー版RoHSの対象となるHPEブランド製品はありません。

全世界

HPEは、指令の範囲内にある事実上すべてのHPEブランドの新製品に関して、EUで定められた各種の期限から6カ月以内に、EU RoHS規制の物質制限にEU (およびEFTA) 域外で世界的な規模で適合するという内部の自発的目標を掲げています。ただし、技術的に実現可能な代替物質が存在しないことが広く認知されている (EU RoHS指令の適用除外項目で示されている) 場合を除きます。

注記:

[1] HPEの「[環境関連一般仕様書](#)」識別番号:041210-80および070905-88を参照。

[2] 規制の範囲内であり、対象の管轄区域の市場に投入されたHPE製品。